目次　Contents

2　しもつけ燈桜会
4　下野市と自治医科大学との連携・協力の歩み
6　まちの話題
8　保健便り
11　子育てインフォメーション
12　生涯楽習だより
14　環境トピックス
16　レッツスポーツ
17　障がい福祉瓦版
18　図書館だより
20　新・下野市風土記
21　国民年金だより
22　くらしの情報
38　7月のカレンダー
39　国際交流員ウィルペルトのコラム
40　イベントカレンダー

今月の表紙　自治医科大学との協定調印式

6月6日、下野市と自治医科大学との連携・協力に関する協定調印式が執り行われ、坂村市長と自治医科大学の大石利雄理事長が協定書に署名し、協定が締結されました。

今回の表紙は、協定締結後、協定書を手に持つ坂村市長と大石理事長のお二人です。

これまでも市と自治医科大学は、自治医科大学から専門職を派遣していただいたり、市内小中学校等で看護学生が実習したりするなど、福祉や教育分野を中心に連携・協力をしてきました。

今回の協定を契機に、福祉や教育分野だけでなく、地域防災や地方創生など、多様な分野において連携を図ることで、これまで以上に密接な関係を構築し、相互のさらなる発展と地域社会の一段の活性化を図っていきます。

これまでに市と自治医科大学が連携・協力した事業などを4、5ページの特集記事にまとめましたので、そちらもご覧ください。

市長の部屋　医療のまち下野の飛躍を目指して

「今月の表紙」のとおり、下野市と自治医科大学との連携・協力に関する協定が締結されました。

市長就任当初より、自治医科大学との連携強化を切望していましたので大変嬉しく思っております。

なぜ下野市が医療のまちであるのか。それは、単に病院やクリニックが多く存在する市であるということではなく、医療や福祉、防災やまちづくり等、自治医科大学との連携・協力に根ざすものです。そして、この度の協定により医療のまちとしての取り組みを明確に発信することが可能になりました。これは、本市にとって本当に大きな意味があります。

今後も、下野市に魅力を感じてくださる方がますます増えることを期待し、そして、この度の協定締結を新たなスタート地点として捉え、「自治医科大学を柱に、将来に向かって医療都市として、どのようなまちづくりを進めていくのか」市の将来像に夢を膨らませながら、まちづくりに全力をあげて取り組んでいきます。

医療のまちとして、下野市はこれから更に大きく発展します！

■人口と世帯（6月1日現在）

人口／59,754人(+7)、男性／29,734人(+18)、女性／30,020人(−11)、世帯数／25,795世帯(+42)

下野インフォメーション　行政・イベント情報や災害情報など、選択したジャンルの情報をメールまたはLINEで受け取ることができます。右の二次元コードからご登録ください。

しもつけクイズ　問1　男女共同参画のつどいの講演テーマは「ゆとりをつくる時短〇〇のススメ」　〇〇に入る言葉は？　①読書　②家事　③体操